

「障害者が障害者のための戦力になる」

平成4年10月18日19日山形にて開催された全国身体障害者スポーツ大会「輝きのべにばな大会」における、パソコン通信による競技速報（輝きネット）実施のコンセプトです。身体障害者自らが参加・運営し大会競技速報を全国に発信しました。

その後の「IT革命」インターネットの爆発的普及等の変化の中で、パソコンを障害者自身の道具として・インターネットを活用し、平成9年4月から小規模作業所を運営してきました。

しかしながら、一方では、「ITデバインド」の言葉に象徴されるように、社会の進歩の恩恵を活用できずにいる障害者もいます。社会に参加し自立していくことを願いながらも、まだ有用な道具を活用できない、ふれあいを求めながらもその「場」にめぐり合えていない障害者も少なくありません。

NPO法人格の取得により、責任体制が明確になって、参加者（＝会員）の意識も変わり、また、運営状況がガラス張りになって、活動の幅と質が大きく変わることが期待されます。それだけではなく、ICT（Information and Communication Technology）技術を学び活用する「場」を得て、作業所利用者が会員となり、自らが運営することにより、社会参加と自立を促進できます。

私たちは、障害者が安心できる「場」を確保し、移動等の困難を克服できるネットワークとパソコンを学び活用することにより、「障害者が社会発展の戦力」として成長・自立することと、障害者同士・障害者と健常者のコミュニケーションが一層広がることを願い、この法人を設立します。

理事長 白井美穂